

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-87	高等学校	地理歴史	地理総合	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
130二宮	地総705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ		

1. 編修の趣旨及び留意点

現在、インターネットの発達により世界の状況を瞬く間に知ることができるようになる一方、グローバル化により温暖化や感染症、難民、貧富の差の拡大など、国境をこえて広がる課題が山積しています。本書は、持続可能な社会づくりを担うための地理の資質・能力を培うよう、編修しました。世界各地の多様な文化を理解し、国際社会における地球的規模の課題に対して、生徒が興味・関心をいただき、主体的に課題を追究・解決することをねらいとするテーマを豊富に取り上げています。

さらに、地図や地理情報システムの発展に合わせ、実践的な地理的技能の習得をめざすスキルアップのコラムや、思考力、判断力、表現力を養うよう、自ら考え、発表するアクティビティを多数取り上げました。より良い社会の実現のため、主体的に課題を追究・解決する態度を養うことができるよう留意しています。

2. 編修の基本方針（教育基本法第2条）

第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

- 世界と日本における現状や課題を平易に記述し、テーマごとに設けたコラムによって内容を深く掘り下げ、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。
- 世界の人々の生活や文化など暮らしを感じさせる写真や紹介コラムを多く掲載して豊かな情操を培うとともに、自然、社会と人間とのかかわりの中から道徳心を養えるようにつとめました。
- 地域調査を行うにあたっては、テーマの設定から調査方法、さらに発表を行うまでの手順を示し、生徒が自ら問題点を探し出し、解決に向けた方策を導き出すことを促し、真理を求める態度を養えるようにしました。

第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

- 現在、私たちが直面しているさまざまな地球的課題や地域的課題について、多様な意見や異なる価値観を尊重したうえで解決をはかることの必要性を考えさせるようつとめました。
- 国による経済発展の違いや南北の格差、途上国における劣悪な労働環境の現状を理解させることで、どのようにしたら世界の人々が等しく幸福を享受できるかについて、考えさせています。

第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

- 世界にはさまざまな人種・民族が存在し、また、あらゆる文化・宗教があるなかで、誰もが等しく、不利益を被ることのない社会を築くためにどのような考え方や取り組みが必要であるか、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質を育成することにつとめました。

第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

- 世界でみられるあらゆる生活文化は、各地域の自然的環境の影響を受けながら育まれたものであるが、近年、人間の営みによってその自然的環境が良好に維持されない状況が出てきています。そのような現状を理解し、未来に向けた持続的な環境保全の必要性について考えさせています。
- 私たちの住む地球には、人間だけではなく、多様な生き物が存在しており、人間の経済活動や無秩序な行いがそうした生き物の生存に悪い影響を与えていることを理解させ、生命を尊重することの意識と態度を養うようつとめました。

第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

- 多様で豊かな自然環境に恵まれている日本は、さまざまな伝統や文化があり、それらは衣食住など暮らしの中に脈々と受け継がれていることを理解させています。
- 世界には多様な伝統・文化・慣習があることを理解し、日本においても、今後、多様性を維持し共生する平和的な社会を築くことができるよう、必要な知識・態度を養えるようにつとめました。
- 生徒が、これから国際社会に主体的に生きていく一人の人間として成長できるよう、国際社会における諸問題について多面的・多角的に理解し、平和的な解決に向けた方策を自ら考えていくことができるようにつとめました。

3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界	現代世界を地理的な視点から概観し、中学校の地理で既習内容である方位や時差について取り上げ、地理総合の導入として、地理学習の基礎となる地図の見方を理解させます。 第1号	p.10～ 15
	2節 国家の領域と領土問題	国家とその領域について、基礎知識を身に付けたうえで、日本の領域をめぐる現状について、地理的・歴史的側面の双方から学習を深めるよう配慮しました。また、日本の海洋国家としての特色と海洋の果たす役割について理解を深めます。 第1号 第5号	p.16～ 19
	3節 国内や国家間の結びつき	国家は、互いに主権を認め合い、さまざまな国際組織を形成していることを学び、国際協調の大切さについて理解を深めます。また、人・物・情報が世界的にどのようにつながっているかを、さまざまな主題図の読図や作図を通して理解させ、主題図を適切に活用するための地理的技能が身に付くよう配慮しています。 第5号	p.20～ 31
	4節 日常生活のさまざまな地図	日常生活の中でみられるさまざまな地図をもとにして、地図と地理情報システムのそれぞれの用途や役割を理解させます。さらに地理情報システムを用いて情報を収集、読み取る技能を身に付けさせます。 第1号	p.32～ 39
2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	地形や気候など世界の自然環境について概観し、それぞれの地形や気候のもとで、人はどのような生活の工夫をしているのかを理解させます。 第1号 第4号	p.42～ 67
	2節 産業の発展と生活文化	農業・工業・商業など産業の営みについて、世界の人々の生活文化が、地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持っていることを、地域事例を通して理解させています。人物の写った写真を豊富に掲載し、生活文化とのかかわりについて理解を促します。 第1号 第2号	p.68～ 87
	3節 言語・宗教と生活文化	世界にみられるさまざまな文化・言語・宗教について概観し、多民族・多文化社会を形成していく中で、自国の文化だけでなく、異なる文化に対しても理解・尊重することの大切さを取り上げています。 第3号 第5号	p.88～ 109

2章	4節 グローバル化の進展と生活文化	グローバル化によって人・物・情報の交流が進み、世界中で生活文化が均質化・画一化していくことを理解させ、その一方で各地で培われた固有の文化が失われていくというグローバル化の弊害にも気づかせます。そのうえで、国際社会や経済の発展には、国境をこえた理解や協力が重要であることを理解させます。 第3号	p.110 ～ 125
3章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食料問題	人口増加地域と人口停滞地域では、それぞれ異なる課題をかかえており、その課題と解決に向けた方向性を示しています。また、世界全体で見ると十分に生産されているはずの食料が、一方では不足し、一方では過剰になっている現状について事例とともに取り上げ、解決の方向性について考えさせます。 第3号 第4号	p.128 ～ 139
	2節 居住・都市問題	都市への人口集中により発生するさまざまな問題について、世界都市と、一極集中により弊害がおきている途上国の都市を取り上げ、理解を促します。さらに、居住環境の改善に向けた事例を取り上げ、より良い暮らしをするために何が必要か考察させます。 第2号 第3号	p.140 ～ 147
	3節 資源・エネルギー問題	鉱物・エネルギー資源の特徴や、資源の有限性・偏在性について理解させるとともに、鉱物資源のリサイクルや、再生可能エネルギーの活用により環境への負荷を減らす可能性を幅広く紹介し、持続的に資源を利用するための方向性について具体的に考えさせます。 第1号 第4号	p.148 ～ 157
	4節 地球環境問題	地球温暖化、熱帯林の減少、砂漠化について、写真・地図・模式図とともに取り上げ、これらが緊急な対策が必要であることを理解させます。地球規模の課題を他人事とさせないよう、タピオカドリンクなど生徒の身近な話題を切り口に、地球的課題が生活場面にも関係していることに気づかせます。 第2号 第4号	p.158 ～ 167
4章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災	人間と自然環境との相互依存関係などに着目し、私たちの生活に被害をもたらす自然災害について、風水害、火山の噴火、地震・津波に分けて体系的に学習します。自助・共助・公助の精神をもち、自然災害への備えと対応を理解させます。ハザードマップや各種の地図を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせます。 第3号 第4号	p.170 ～ 191
	2節 持続可能な地域づくり	これまでに学習してきたことをふまえ、自らの生活圏における地理的な課題について、持続可能な地域づくりを進めるための方法を考えさせます。課題の解決に向けた手法を丁寧に説明し、どの地域においても生徒が応用できるように一般的な記述にしています。 第2号 第5号	p.192 ～ 205

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 見開きごとにテーマを設定し、関連する主題図・写真・設問・用語解説・コラムなどを有機的に配置しました。生徒の学習意欲が高まるよう、ページの冒頭に発問を設け、学習目的を明確にしています。
- 大判紙面に、資料性の高い図や写真をダイナミックに配置しました。文章の表現を丁寧にわかりやすくするとともに、振り仮名を豊富につけることにより、紙面を読みやすく構成しています。
- 全般にわたり、世界、日本、地域について多様で幅広い題材を扱うことで内容を充実させ、知識の修得を確実に行えるようにしました。
- 学習内容を相互に補完できるよう、関連ある用語や内容には該当箇所を示す参照ページをつけました。世界的な概論のなかで扱う内容と地域事例のなかで扱う内容を、円滑に参照しあえるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインを考慮し、色覚特性を持った生徒にもわかりやすいものとなるよう紙面の色使いに配慮しました。また、文字をはっきりと読み取ることができるようユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-87	高等学校	地理歴史	地理総合	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
130二宮	地総705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ		

1. 編修上 特に意を用いた点や特色

世界や日本, 地域社会の特色や現在かかえている課題について理解を深めるとともに, 高等学校の必修科目として未来の社会を担う力を育むよう, 以下の点に力を入れて編修しました。

本書の特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 世界の生活文化や地球的課題に対し主題を設定するとともに, 適切な地域事例を取り上げました。 ② 1見開き1授業時を想定し, 導入の問いかけ→本論→まとめとして授業の流れを構成しました。 ③ 主体的に学習に関わるよう, 節冒頭にクローズアップ, 節末にアクティビティを設定しました。 ④ 世界の人々の生活文化や社会の最新動向など, 知識を広げ深められるよう, コラムを充実させました。 ⑤ 地図や統計が紙上でもデジタルでも使いこなせるよう, 地理の技能について丁寧に解説しました。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

特色① 世界の生活文化や地球的課題に対し主題を設定するとともに, 適切な地域事例を取り上げました。

① 各単元の事例は1地域に留めず, 地域によるあられわれ方の違いを比較することで要因や特徴を捉えることができるよう, 適宜, 事例地域を組み合わせました。

自然地域	乾燥帯	サウジアラビアとモンゴル	温帯	ユーラシア大陸の西岸と東岸
産業の発展		タイとベトナム		
宗教		仏教圏, キリスト教圏, イスラーム圏		
人口問題	人口大国	中国とインド	人口の停滞する国	スウェーデンと日本
都市問題	世界都市	ニューヨークとロンドン	人口が密集する都市	メキシコシティとジャカルタ

② 国際理解の章では「自然環境」「産業の発展」「言語・宗教」の学習後, 「グローバル化の進展」として, 世界への影響力が大きいEUとアメリカの自然・産業・文化を総合的に取り上げ, 深い理解を促します。

③ 世界全体をバランスよく学習できるように, 地域事例を適切に選定しました。



2章「国際理解」と3章「地球的課題」で扱う **事例地域**

特色③ 主体的に学習に関わるよう、節冒頭にクローズアップ、節末にアクティビティを設定しました。

⊕ クローズアップ

1章2節と2章の導入部では、国際理解を促すよう、あるテーマに焦点をあて、ビジュアルに章を大観できるページを設定しました。



例 2章3節 言語・宗教と生活文化

祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう

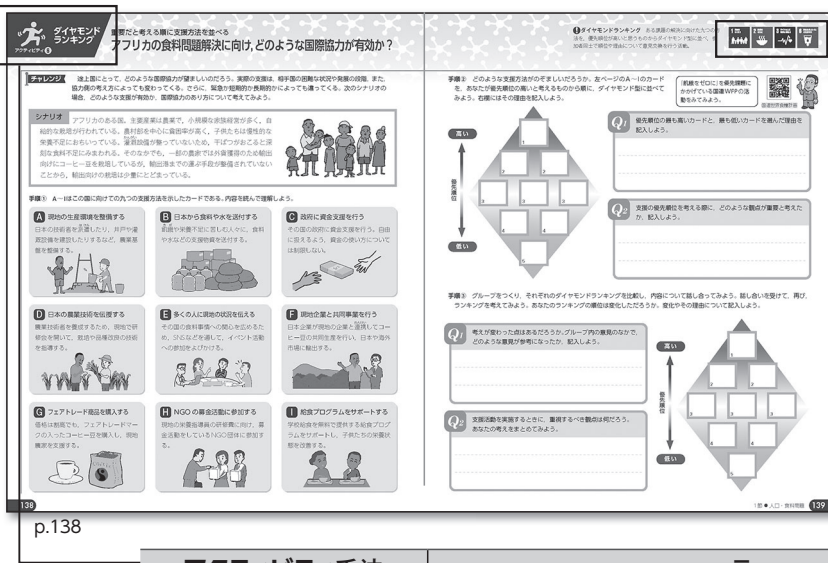
キリスト教・イスラーム・仏教のさまざまな祈りの姿に注目させます。

クローズアップのテーマ

- 海を渡った日本人をみてみよう
- 世界の自然環境に合わせた保存食をみてみよう
- 産業の発展による生活の変化をみてみよう
- 祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう
- Tシャツはどこからくるのか？

👤 アクティビティ

節の最後に、グループでの話し合いや発表などを通じて思考を深めるアクティビティページを設けました。それまでの学習を受け、設定されたテーマに対し、生徒自らが主体的に考え、対話から学びあうことで深い理解をめざします。



テーマと関連の深い、国連の持続可能な開発目標SDGsのアイコンを掲載しています。自然環境や社会、経済について、地域ごとに状況が異なることを理解し、幅広い視点から考察を促します。

例 3章1節 ダイヤモンドランキング

アフリカの食料問題解決に向け、どのような国際協力が有効か？
支援方法が書かれている9枚のカードを使って優先順位を考察します。

12種類のアクティビティを用意

アクティビティ手法	テーマ	SDGs目標
① 地図の作成	自分のまちを紹介するフォトマップをつくろう	—
② フォトランゲージ	自然環境に合わせ、住居にどのような工夫をしているか？	14 15
③ 統計の読み取り	産業構造から経済をみてみよう	8 9 12
④ ケーススタディ	外国の人々との交流、あなたならどうする？	5 10 16
⑤ プレゼンテーション	新製品の企画、あなたはどの市場をねらう？	8 9 12
⑥ ダイヤモンドランキング	アフリカの食料問題解決に向け、どのような国際協力が有効か？	1 2 3 6
⑦ ディベート	郊外型ショッピングセンターの出店計画、賛成？反対？	8 11
⑧ ディスカッション	安定したエネルギー供給には、どの発電方法がよいか？	7 12
⑨ ロールプレイング	越境して広がる環境問題に、どう取り組むか？	9 12 13 14
⑩ 因果関係図	17の目標はどのように関連し合っているのだろう？	17
⑪ フィールドワーク	河川とその流域の特徴を知り、歩き、避難に活かそう	11 13
⑫ インタビュー・取材	地域活性化のための取り組みを調べよう	8 9 11

特色④ 世界の人々の生活文化や社会の最新動向など、知識を広げ深められるよう、コラムを充実させました。

<p>トピック Topic 本文の内容を補足・発展させる、地理ならではの話題を取り上げ、知識を広げます。</p> <p>例 最も早く新年を迎える国 外国人にもわかりやすい地図記号 1×2×3で第6次産業 日本の中小企業の技術力 現代版シルクロードをめざす「一带一路」構想 人々はEU加盟をどのように捉えている？</p> <p>全43テーマ</p>	<p>世界の衣・食・住 世界の特徴的な生活文化を紹介して国際理解を深めます。</p> <p>例 湧水の利用 キャッサバレシピアのあれこれ ブナと竹の活用 寒さを乗り切る工夫・バーニャ 生活にとけこむキリスト教行事 変わるイスラーム社会</p> <p>全8テーマ</p>
<p>日本とのつながり</p> <p>日本と世界のつながりを紹介し、類似点や相違点、今後の関係性について考察させます。</p> <p>例 東南アジアへの日本企業の進出 日本のムスリム あこがれの南米特有のサッカースタイル 日本とEUの経済連携 砂漠緑化への日本の技術協力</p> <p>全9テーマ</p>	<p>私たちにできるSDGs</p> <p>持続可能な社会に向け、自分たちにできることを提案します。</p> <p>例 模擬国連にチャレンジ 食品ロスをなくすために、できること フェアトレードを通じた支援 温暖化ストップに私たちができること 津波から身を守るのは、防潮堤か、それとも植樹活動か？</p> <p>全7テーマ</p>

特色⑤ 地図や統計が紙上でもデジタルでも使いこなせるよう、地理の技能について丁寧に解説しました。

① 地理のスキルアップを16テーマ、設けています。

○ 大判の誌面を活かし、図やグラフの読み取りや、作図がしやすいよう配置しました。

○ 単元の内容に合わせて、知識とともに地理的な技能が獲得できるよう工夫しています。**Try**、**Work**として、具体的な問いかけや作業を入れました。

例 階級区分図、地形図の基本、読図、雨温図、人口ピラミッド、ハザードマップ

○ スマートフォンやタブレットで使えるGISソフトについて、基本操作や実際の例を紹介しています。二次元コードを掲載し、読み込んでそのアドレスにジャンプし、自分で確認できるようにしています。

例 地球儀ソフト、地理院地図、RESAS、今昔マップ海しる、マイワールドなど

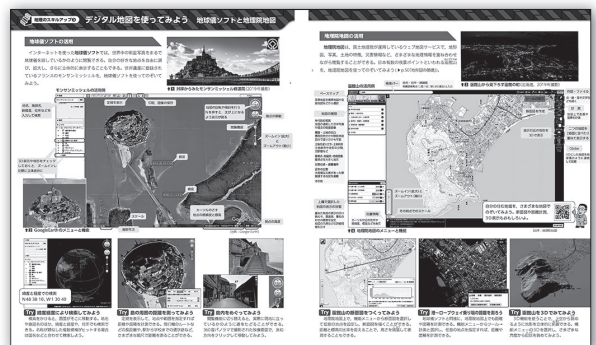
② 写真に撮影地点の経緯度や世界遺産マークを掲載。

○ 地球儀ソフトや地理院地図で検索できるよう、国境や地形、発電所などの写真に撮影地点の経緯度を入れました。また、世界遺産の写真にマークを付けました。写真の自然環境や立地条件の考察に役立ちます。



地理のスキルアップ

- ① さまざまな統計地図をみてみよう
- ② 階級区分図をつくってみよう
- ③ デジタル地図を使ってみよう
—地球儀ソフトと地理院地図
- ④, ⑤ 地形図で読む地形と生活
- ⑥ 世界の気候区分を大観し、雨温図を描いてみよう
- ⑦ 米と小麦の生産と輸出をみてみよう
- ⑧ 自然条件から農業地域をみてみよう
- ⑨ 人口ピラミッドの読み方
- ⑩ 世界でおきている自然災害をみてみよう
- ⑪ 新旧地形図の比較から自然災害のリスクを検証する
- ⑫ 自然災害や地域の特徴を地図からみてみよう
- ⑬ 土砂災害ハザードマップの見方
- ⑭ 津波からの避難の方法を考えよう
- ⑮ インターネットの統計ツールで地域を調べてみよう
- ⑯ デジタル地図で地形と鉄道の変遷をみてみよう



p.34 デジタル地図を使ってみよう 地球儀ソフトと地理院地図

2. 対照表

教科書の単元構成			該当箇所	配当時数	学習指導要領の内容	
1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界	1,2 球面上での生活	10～13	2	A(1) 地図や地理情報システムと現代世界	
		3 世界地図でとらえる地球	14～15	1		
	2節 国家の領域と領土問題	1 国家の領域と海洋の役割	16～17	1		2
		2 日本の位置と領土問題	18～19	1		
	3節 国内や国家間の結びつき	1 国家をこえた結びつき	22～25	1		4
		2 観光による結びつき	26～27	1		
		3 交通・通信による結びつき	28～29	1		
		4 貿易・物流による結びつき	30～31	1		
	4節 日常生活のさまざまな地図	1 身のまわりにあるさまざまな地図	32～35	1		2
		2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方	36～37	1		
2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	1 地球上の地形のなりたち	44～45	1	8	
		2,3 山地と平野/海岸部の生活	46～53	2		
		4 地球上の気候のなりたち	54～57	1		
		5 【事例】アフリカ 暑い気候に対応した生活	58～59	1		
		6 【事例】サウジアラビア・モンゴル 乾燥した気候に対応した生活	60～61	1		
		7 【事例】ユーラシア大陸の西岸と東岸 季節の違いに対応した生活	62～63	1		
		8 【事例】シベリア 寒冷な気候に対応した生活	64～65	1		
		2節 産業の発展と生活文化	1 農業の地域性	70～73		1
	2 【事例】南アジア 農業と生活文化		74～75	1		
	3 工業の地域性		76～77	1		
	4,5 【事例】中国 経済成長による生活の変化		78～81	2		
	6,7 【事例】東南アジア/タイ・ベトナム 工業化による生活の変化		82～85	2		
	3節 言語・宗教と生活文化		1 世界の言語	90～91	1	9
		2 世界の宗教	92～93	1		
		3 【事例】仏教圏の生活文化	94～95	1		
		4 【事例】キリスト教圏の生活文化	96～97	1		
		5,6 【事例】イスラーム圏の生活文化	98～101	2		
		7 世界の多民族・多文化社会	102～103	1		
		8 【事例】ラテンアメリカ さまざまな社会の形成と生活文化	104～105	1		
		9 【事例】オーストラリア 多文化社会の実現と生活文化	106～107	1		
4節 グローバル化の進展と生活文化	1～3 【事例】EU 地域統合による生活文化の変化	112～117	3	6		
	4～6 【事例】アメリカ グローバル化による成長と課題	118～123	3			
3章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食料問題	1 世界の人口問題	128～129	1	5	
		2 【事例】中国・インド 人口が増加した国の課題	130～131	1		
		3 【事例】スウェーデン・日本 人口が停滞する国の課題	132～133	1		
		4 世界の食料問題	134～135	1		
		5 【事例】アフリカ 人口増加と食料問題	136～137	1		
	2節 居住・都市問題	1 世界の居住・都市問題	140～141	1	3	
		2 【事例】ロンドン・ニューヨーク 大都市の地域性と課題	142～143	1		
		3 【事例】メキシコシティ・ジャカルタ 人口が密集する都市の課題	144～145	1		
	3節 資源・エネルギー問題	1 世界の資源・エネルギー	148～149	1	4	
		2 エネルギー資源の生産・消費と課題	150～151	1		
		3 再生可能なエネルギーへの移行	152～153	1		
		4 【事例】ロシア・オーストラリア・日本 鉱産資源の産出と消費	154～155	1		
	4節 地球環境問題	1 地球温暖化の現状と将来	158～159	1	3	
2 熱帯林の減少		160～161	1			
3 砂漠化の進行		162～163	1			
4章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災	1 日本の地形・気候と生活	170～171	1	5	
		2～4 風水害/火山/地震・津波と防災	174～185	3		
		5,6 都市型災害と防災/防災・減災への心構え	186～189	1		
	2節 持続可能な地域づくり	1 地域調査の実施手順と方法	192～195	1	4	
		2～4 【事例】軽井沢 地域調査	196～203	3		
			配当時数	65		